

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人船橋市社会福祉協議会

事 業 報 告

船橋市社会福祉協議会（以下、「市社協」という。）では、地域の皆様が安心して暮らしていけるよう、本年度が最終年となる『第3次船橋市地域福祉活動計画』に基づき、共助（互助）の視点から、取り組むべき重要4項目を含め、町会・自治会や民生委員・児童委員、ボランティアをはじめ各関係機関・団体の協力を得て、住民相互のつながりや支え合いによる福祉のまちづくりを基本方針として取り組んでまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数の増加により事業の中止を決定せざるを得ない時期もあり、日々移り変わる状況に対応しながら事業を行ってまいりました。

また、令和5年度から実施する『第4次船橋市地域福祉活動計画』について、計画策定委員会を5回開催し策定しました。

令和元年度末より開始されたコロナ禍で収入が減少した生活困窮世帯に対する生活福祉資金特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）制度（千葉県社会福祉協議会からの受託事業）については、9月末日をもって申請受付が終了となりました。制度開始から終了までの間に、約4万5千5百件の相談を受け、申請件数は約1万3千7百件、決定件数は約1万8百件、約39億3千万円の貸付を行いました。また、令和5年1月から償還指導を開始するとともに夏頃から始まる未応答または償還が困難な借受人に対するフォローアップ支援に向け、体制強化に努めました。

地区社会福祉協議会（以下、「地区社協」という。）では、行動制限の緩和により徐々に事業を開催できるようになりましたが、感染拡大によって事業中止を余儀なくされた時期もあったため、昨年度に引き続き地域の方々との繋がりを絶やさぬよう、ミニデイサービス、ふれあい・いきいきサロン、子育てサロン等の参加者に、ご自宅で出来る工作や手芸キットなどを郵送しました。また、事業を開催する際には、感染防止対策を徹底し、安心・安全な事業運営を行いました。

安心登録カード事業については、緊急時や災害時に備えた「顔の見える関係づくり」を目的として、登録者に対する訪問や電話、ハガキによる日常の見守り活動を行いました。

そのほかとして、ひとり暮らし高齢者等の住宅相談窓口である「住まいるサポート船橋」、判断力が十分でない高齢者等に日常生活自立支援を行う権利擁護センター「ばれっと」、家庭等で余っている食品や食材を募集し、地域の福祉団体やフードバンクに寄付する活動である「フードドライブ」を継続して実施するとともに、福祉読本「やさしい気持ち」を作成し、主に市内公立小学校4年生などを対象として約6千冊を配布しました。

さらに、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を4年ぶりに総合教育センターにて実施し、効率的な管理運営を図るため、災害ボランティアセンター運営支援システムを試験的に導入しました。

市の指定管理を受託している中央・西老人福祉センターでは、感染予防に配慮した施設運営を行いました。

共同募金関係では、昨年度に引き続き歳末たすけあい募金配分金交付事業として、申請のあった市内在住の就学援助準要保護認定を受けている小学1年生から中学3年生の児童生徒を持つ世帯に対して商品券の郵送を行いました。

収入面では会費（賛助・特別・団体・法人）の勸奨や収益事業である自動販売機事業の運営を行い、市社協の運営基盤強化を図りました。

重点事項	施策の内容	成果												
1) 社会福祉協議会の基盤強化及び自主財源の確保	(1) 個人会員・賛助会員等の増を図る	<p>会員増強のため、「ふなばし福祉」にPR記事を掲載するとともに、町会・自治会長宛に賛助会員の協力依頼を行った。 また、特別・団体・法人会員についても協力依頼を行った。</p> <table border="0"> <tr> <td>・賛助会員</td> <td>21,365,981 円</td> </tr> <tr> <td>・特別会員</td> <td>422,500 円</td> </tr> <tr> <td>・団体会員</td> <td>942,000 円</td> </tr> <tr> <td>・法人会員</td> <td>1,050,000 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>23,780,481 円</td> </tr> <tr> <td>※対前年度</td> <td>△ 635,195 円</td> </tr> </table>	・賛助会員	21,365,981 円	・特別会員	422,500 円	・団体会員	942,000 円	・法人会員	1,050,000 円	合計	23,780,481 円	※対前年度	△ 635,195 円
	・賛助会員	21,365,981 円												
	・特別会員	422,500 円												
・団体会員	942,000 円													
・法人会員	1,050,000 円													
合計	23,780,481 円													
※対前年度	△ 635,195 円													
(2) 収益事業の継続運営	<p>新型コロナウイルス感染症対策緩和により、学校等の行事および一般利用者の公園利用が増えたことと、公共施設の利用者が増えたことにより、収入増となった。</p> <table border="0"> <tr> <td>・売上金</td> <td>10,683,768 円</td> </tr> <tr> <td>※対前年度</td> <td>1,579,339 円</td> </tr> <tr> <td>・自動販売機設置台数</td> <td>49 台</td> </tr> <tr> <td>※前年度台数</td> <td>49 台</td> </tr> </table>	・売上金	10,683,768 円	※対前年度	1,579,339 円	・自動販売機設置台数	49 台	※前年度台数	49 台					
・売上金	10,683,768 円													
※対前年度	1,579,339 円													
・自動販売機設置台数	49 台													
※前年度台数	49 台													
(3) 自主事業による財源確保	<p>入れ歯回収ボックスを市役所や老人福祉センター、地区社協に設置し、財源確保に努めた。</p> <table border="0"> <tr> <td>・入れ歯回収ボックス設置</td> <td>29 か所</td> </tr> <tr> <td>還元金</td> <td>145,900 円</td> </tr> </table>	・入れ歯回収ボックス設置	29 か所	還元金	145,900 円									
・入れ歯回収ボックス設置	29 か所													
還元金	145,900 円													
2) 地区社会福祉協議会の充実強化を図るための支援	(1) ミニデイサービス事業の充実(24地区で実施)	<p>公民館などの公共施設や町会・自治会などにおいて、健康づくりなどを推進するために実施し、多くのボランティアの協力を得て、地域福祉の推進が図られた。 前年度に引き続き、事業開催に代えて手紙や小物づくりのキットを郵送する取り組みなどを併せて実施し、事業参加者とのつながりの継続に努めた。</p> <table border="0"> <tr> <td>・実施回数</td> <td>284 回</td> </tr> <tr> <td>※前年度実施回数</td> <td>48 回</td> </tr> </table>	・実施回数	284 回	※前年度実施回数	48 回								
・実施回数	284 回													
※前年度実施回数	48 回													

重点事項	施策の内容	成果
		<ul style="list-style-type: none"> ・郵送等の回数 129 回 ※前年度実施回数 239 回
	(2) ふれあい・いきいきサロン事業の充実(24地区実施)	<p>公民館などの公共施設や町会・自治会館などにおいて、高齢者及び障がい者、子どもたちが気軽に参加し、世代を越えた仲間づくりなどの場として実施することにより地域福祉の向上が図られた。</p> <p>前年度に引き続き、事業開催に代えて手紙や小物づくりのキットを郵送する取り組みなどを併せて実施し、事業参加者とのつながりの継続に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 246 回 ※前年度実施回数 33 回 ・郵送等の回数 76 回 ※前年度実施回数 118 回
	(3) 子育てサロン事業の推進(24地区実施)	<p>地域内で子育てについて情報交換や相談をする場が少ない親子を対象として、親子同士が交流できる場を提供し、子育て支援を推進した。</p> <p>前年度に引き続き、事業開催に代えて手紙や小物づくりのキットを郵送する取り組みなどを併せて実施し、事業参加者とのつながりの継続に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 283 回 ※前年度実施回数 135 回 ・郵送等の回数 27 回 ※前年度実施回数 66 回
	(4) ボランティア育成事業の充実(24地区実施)	<p>新たなボランティア登録者の発掘や、継続したボランティア活動を行うための研修や講座を実施し、ボランティアの確保・育成に努めた。</p> <p>前年度に引き続き、事業開催に代えて手紙や小物づくりのキットを郵送する取り組みなどを併せて実施し、事業参加者とのつながりの継続に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 101 回 ※前年度実施回数 82 回 ・郵送等の回数 26 回 ※前年度実施回数 42 回

重点事項	施策の内容	成果
	(5) 地区社協広報紙の発行(24地区で発行)	<p>地区社協では、年間1～3回広報紙を配布し、情報の提供を行った。</p> <p>・実施回数 47回 ※前年度実施回数 42回</p>
	(6) 地域福祉まつりの充実	<p>従来の開催方法に加え、展示やシンポジウム形式でも開催し、各種団体との連携や交流が図られたほか、福祉への関心を高めることに努めた。</p> <p>・実施回数 11回 ※前年度実施回数 4回</p>
	(7) 福祉相談事業の推進(24地区で開催)	<p>地域住民の身近で気軽に相談ができる窓口を地区社協に開設し、地域の関係機関・団体や行政と連携しながら、福祉相談の解決に努めた。</p> <p>・相談件数 4,185件 児童相談 94件 介護相談 437件 医療相談 178件 家族関係相談 53件 隣人関係相談 93件 障がい児者相談 30件 その他 3,300件</p>
	(8) 自主事業の推進	<p>地域における住民相互のふれあいや交流、健康づくりなどを目的とした事業を実施し、地域福祉の推進が図られた。</p> <p>宮本地区社協 ・カラオケ大会 中止 ・ボッチャゲーム大会 中止</p> <p>高根・金杉地区社協 ・クリスマス会 1回 ・シルバーリハビリ体操 9回</p> <p>高根台地区社協 ・多目的サロン 中止</p>

重点事項	施策の内容	成果
	前原地区社協	・健康体操 19回
	習志野台地区社協	・ゆる体操 18回 ・ヨガ教室 16回
	二和地区社協	・シルバーリハビリ体操 中止
	八木が谷地区社協	・健康セミナー 6回
	松が丘地区社協	・インドアスポーツ大会 中止
	豊富地区社協	・カフェ「きらら」 8回
	(9) 活動拠点整備事業の推進	地区社協がミニデイサービスや子育てサロンなどの各事業を行うにあたり、市補助金を活用することにより、安定した会場確保ができ、地域福祉の推進が図られた。
	宮本地区社協	・拠点整備 使用回数 211回
	葛飾地区社協	・拠点整備 使用回数 135回
	高根台地区社協	・拠点整備「楽し荘」 使用回数 120回
	習志野台地区社協	・拠点整備「地区社協事務所及び活動拠点」 使用回数 37回
	二和地区社協	・拠点整備「なごみ」 使用回数 247回

重点事項	施策の内容	成果
	松が丘地区社協	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点整備「どんぐり」 使用回数 274 回
	豊富地区社協	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点整備「きらら」 使用回数 163 回
	坪井地区社協	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点整備「つばい福祉交流館」 使用回数 196 回
	高根・金杉地区社協	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点借上「自治会館」 使用回数 19 回
	二宮・飯山満地区社協	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点借上「自治会館」 使用回数 7 回
	三田習地区社協	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点借上「三山市民センター」 使用回数 21 回
	三咲地区社協	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点借上「自治会館」 使用回数 6 回
	八木が谷地区社協	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点借上「自治会館」 使用回数 13 回
	(10) 地区社協事務局員の充実強化	<p>多様化する福祉ニーズに対応できるよう事務局員の研修を実施し、資質の向上に努めた。</p> <p>研修会 「地域交流の活性化と魅力発信について」 「就労準備支援事業と地域でのボランティア活動について」</p>
	(11) 地区社協の育成及び支援	<p>市社協ホームページを活用し、情報の提供及び共有に努めるとともに、地区間で円滑な情報交換ができるようリモート会議システムの普及を図った。</p> <p>また、ミニデイサービスなど主要5事業及び自主事業などの充実強化に努めた。</p>
3) 地域福祉活動計画の推進	第3次活動計画の推進	第3次活動計画の推進に努めた。

重点事項	施策の内容	成果
4) 安心登録カード事業の促進	安心登録カード事業の推進	<p>日頃の見守り活動を行うことにより、災害時及び緊急時における要配慮者の救援・支援を図るため、24地区社協全てで実施している。</p> <p>引続き、町会・自治会や民生委員・児童委員などの関係機関・団体やボランティアなどと連携を図り、事業の推進に努めた。</p> <p>・安心登録カード事業登録者数 登録者数 19,938 人 内訳(男: 7,478人・女: 12,460人)</p> <p>・電話等見守り活動 (補助金対象以外も含む)</p> <p>実施地区社協 14 地区 (高齢者福祉課対象2地区含む)</p> <p>見守り回数 16,436 回 見守り対象者数 12,785 人 見守り活動者数 390 人</p>
5) ボランティアセンター事業の充実	(1) ボランティアセンターの運営	<p>ボランティアの相談及び登録業務を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症により、活動ができないボランティアの相談等を行い、家で行えるボランティア活動をすすめた。</p> <p>・新規ボランティア依頼件数 35 件</p> <p>・ボランティア登録人数 2,904 人 【内訳】グループ 158 グループ 2,655 人 個人 239 人</p> <p>・東日本大震災等被災者支援の災害ボランティア新規登録者数 64 人 【内訳】 市内 61 人 市外 3 人 県外 0 人</p>
	(2) ボランティア団体との連絡	<p>ボランティア連絡協議会が行う研修会や運営委員会に出席し、運営に協力した。</p> <p>また、各ボランティアグループの活動に対し、助言及び支援に努めた。</p>

重点事項	施策の内容	成果
	(3) ボランティア研修・講座の開催	<p>ボランティアの心得や知識を学び、資質の向上に努めているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、各種研修・講座は中止となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生ボランティア養成講座 中止 ・シニアボランティア研修会 43人 ・地域に飛び出せ！！ ふなばし夏のボランティア体験 中止 ・「障がい者・ボランティア交流の集い」 中止 ・ふれあい交流研修会 中止 ・ボランティア入門講座 中止
	(4) 福祉教育の推進 ※市社協指定校 小学校 55校 中学校 27校 高校 15校	<p>福祉教育推進指定校に対する取り組みとして、学校での体験学習(車椅子及び高齢者擬似体験など)に用具の貸出しによりその支援に努めた。 また、主に小学4年生を対象として「福祉読本」を配布し、福祉を学ぶきっかけづくりに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉読本「やさしい気持ち」配布 配布数 5,982 冊 主な配布先 小学校55校 ・車椅子及び高齢者擬似体験等実施校 <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、福祉器材貸出のみ実施。</p>

重点事項	施策の内容	成果
	(5) 福祉用具等の貸し出し	<p>車椅子の必要な方や学校の体験学習などに貸出しを行い、福祉の推進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車椅子貸出件数(体験学習含む) 29件 103台 ・高齢者擬似体験用具貸出件数 13件 103セット ・アイマスクの貸出件数 11件 405個 ・点字板の貸出件数 8件 193個 ・白杖貸出件数 13件 168本 ・妊婦擬似体験用具貸出件数 5件 10セット
	(6) 古切手の寄贈・サロンの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・古切手等寄贈件数 402件 ・古切手サロン (おうちで古切手ボランティア) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、サロン形式では未開催となった。昨年度に引き続き、サロン参加者との関係性を保つため、自宅で作業が出来る形式で取り組みを行った。 ボランティア数 延 168人
6) 災害時ボランティア活動等の検討	災害時におけるボランティア活動等の検討	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら、船橋SLネットワーク、千葉レスキューサポートバイク、各地区社協、行政等に参加してもらい、(株)コンサイドの協力を得て、ICTを活用した実践的な訓練を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立ち上げ訓練 開催日:令和5年2月18日(土) 場 所:船橋市総合教育センター 参加者数 135人 ・シェイクアウト訓練 各自で実施

重点事項	施策の内容	成果
7) ふなばし高齢者等 権利擁護センター事 業の推進	日常生活自立支援事業の利 用促進	<p>判断能力が十分でない高齢者や障がい者が自立した地域生活を送れるようにする事業で、昨年度増員した生活支援員(22名)にケース引き継ぎを進め、課題であった利用申込待機期間の大幅な短縮を図った。</p> <p>【権利擁護センター(ぱれっと)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護相談延件数 327 件 ・全体の契約件数 87 件 ・新規契約件数 28 件 ・解約件数 11 件 ・高齢者法律相談受付件数 27 件 ※主な相談内容(相続・成年後見、遺言) ・成年後見制度相談受付件数 19 件 ※主な相談内容(制度の利用方法、対象者など)
8) 低所得対策事業の 促進	低所得対策事業として、福祉 銀行・生活福祉資金の貸付	<p>福祉銀行の貸付及び償還については、市担当課との連携強化に努めた。また、滞納者については督促状を送り、償還率アップに努めた。</p> <p>また、生活福祉資金では、貸付困難ケースへの対応や償還指導について、市担当課や民生児童委員との協力関係の強化を図った。</p>

重点事項	施策の内容	成果
		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉銀行貸付 <ul style="list-style-type: none"> 相談件数 1,140 件 金銭交付 11 件 3,410 円 貸付金 417 件 4,165,000 円 償還金 369 件 3,705,000 円 ・生活福祉資金貸付 <ul style="list-style-type: none"> 相談件数 3,481 件 教育支援資金 129 件 82,073,400 円 福祉資金福祉費 16 件 2,844,800 円 緊急小口資金 64 件 5,656,400 円 総合支援資金 0 件 0 円 臨時特例つなぎ資金 1 件 96,000 円 不動産担保型生活資金 0 件 0 円 要保護世帯向け不動産担保型生活資金 2 件 21,450,000 円 生活復興支援資金 0 件 0 円 ・コロナ特例貸付制度(9月末で終了しています) <ul style="list-style-type: none"> 相談件数 5,633 件 緊急小口資金(コロナ特例) 167 件 32,390,000 円 総合支援資金(コロナ特例) 77 件 36,350,000 円 総合支援資金(コロナ特例・再貸付) 0 件 0 円 ※ 生活福祉資金の償還は県社協が事務処理

重点事項	施策の内容	成果
9) 老人福祉センター管理運営の推進	老人福祉センターの運営充実	<p>老人福祉センターを利用することにより、高齢者の生きがいや健康づくり及び教養の向上が図られるよう各種相談活動やサークル活動、クラブ活動などの促進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央老人福祉センター <ul style="list-style-type: none"> 利用者累計 31,056 人 1日平均利用者数 106 人 ・西老人福祉センター <ul style="list-style-type: none"> 利用者累計 33,064 人 1日平均利用者数 112 人
10) 高齢者・障がい者などの地域生活の支援	(1) 在宅福祉サービス事業の促進	<p>家事援助などの生活支援サービスが多くのボランティアの協力によって実施された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たすけあいの会把握団体数 57 団体 <p>地域住民同士が交流を図るとともに、ボランティア活動を通じて精神に障がいのある人の在宅生活の自立訓練にも活用されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃの図書館の運営 <ul style="list-style-type: none"> 東図書館 利用者 延 35 人 西図書館 利用者 延 0 人
	(2) 地域包括ケアシステムの構築（生活支援コーディネーターによる体制整備）	<p>高齢者になっても安心して暮らすことができる地域づくりのため、市委託事業として生活支援コーディネーターを各地区社協に配置し、地域での支え合いの体制構築、生活支援サービスの充実を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置地区社協 24 地区
	(3) 生活困窮者自立支援事業（就労準備支援・ボランティア関係）	<p>市委託事業として就労準備支援事業利用者の社会的自立プログラムに位置づけ、社協事業などでのボランティア活動を活用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動延利用回数 57 回

重点事項	施策の内容	成果
11) 福祉情報の提供	ふなばし福祉の充実	<p>広報紙を全戸配布することにより地域住民に福祉に対する理解が得られるよう年2回発行(9月号休刊)し、情報提供に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行号数103号から104号 <p style="text-align: right;">発行部数 404,000 部</p> <p>インターネットを活用した情報提供に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの活用 <p style="text-align: right;">アクセス件数 53,779 件</p>
12) 市受託事業の効率的運営とサービスの向上	福祉リフトカーの運行促進	<p>障がい者やねたきり高齢者の通院など、2台のリフトカーにより利用者の福祉向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行回数 延 182 回 ・利用者数 延 118 人
13) 次代を担う青少年の健全育成事業の支援	市内青少年の健全育成及び非行防止	<p>子どもの遊び場に設置している遊具の点検を行い、事故防止に努めた。また、青少年の健全育成を図るため、青少年関係団体等との連携を図るとともに、事業に対する助成などにより支援に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び場 3 か所
14) 社会福祉協議会の運営・事業の透明化	(1) 情報の開示	<ul style="list-style-type: none"> ・開示件数 0 件
	(2) 個人情報の安全管理	<p>保有する個人情報の適正な管理を行い、安全確保に努めた。</p>
15) 福祉サービス利用者保護のための体制整備	福祉サービスに対する苦情解決	<p>市民からの苦情に速やかな対応を図るため、第三者委員会を設置している。要望や苦情に対しては、速やかな対応に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情・要望件数 0 件 ・第三者委員会の開催 0 回

重点事項	施策の内容	成果
16) 社会福祉事業振興貸付事業の促進	高齢者、障害者施設及び保育施設の整備支援	<p>社会福祉事業振興資金は、福祉施設の新設や増改築費として活用され、社会福祉法人や施設利用者にとっての利便が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成16年度～令和4年度までの貸付件数 12 件 ・令和4年度の貸付件数 0 件
17) 共同募金事業の推進	(1) 共同募金会船橋市支会事業の実施及び地域配分の効果的活用	<p>「じぶんの町をよくするしくみ」をテーマとして、赤い羽根共同募金活動を展開した。前年度の募金の30%は千葉県全域に配分され、残りの70%は船橋市内の地域福祉活動に役立てられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸別募金（町会・自治会からの募金） 15,500,862 円 ・街頭募金（船橋駅前にて街頭募金活動を実施） 10,763 円 ・法人募金（市内の企業からの募金） 602,095 円 ・学校募金（市内の小・中・高・専門学校からの募金） 894,742 円 ・職域募金（船橋市役所職員からの募金） 121,400 円 ・その他の募金 881,735 円 ・募金合計額 18,011,597 円 ※前年比 △ 826,795 円 ・配分額 12,356,873 円 ※前年比 1,562,376 円

重点事項	施策の内容	成果
	(2) 歳末たすけあい募金の実施 及び適正配分	町会・自治会、ボーイスカウトの協力のもと歳末たすけあい募金活動を実施した。集めた募金は配分委員会に諮り、要保護世帯などに対し適正配分を図り、福祉の増進に努めた。 ・戸別募金（町会・自治会からの募金） 14,027,648 円 ・街頭募金（ボーイスカウト船橋地区の協力を得て、募金活動を実施） 536,329 円 ・その他の募金（個人や団体などからの募金） 436,496 円 ・募金合計額 15,000,473 円 ※前年比 △ 1,849,060 円 ・配分額 15,709,268 円 ※前年比 △ 450,920 円
	(3) 各種災害義援金の募金活動	ホームページに各種災害義援金の募金に関わる情報を掲載した。 ・募金額 0 円
18) 居住支援事業の推進	住宅セーフティネット構築のための住宅確保要配慮者に対する支援	住宅相談窓口「住まいるサポート船橋」を運営し、居住支援協議会の事務局として居住支援サービスの利用拡大を図った。 延相談件数 812 件 相談者数 124 人 物件成約件数 17 件 身じまいサービス契約件数 0 件 同行支援サービス 16 件 協力不動産店 28 店 ・高齢者を対象とした講演会の実施 1 回 参加者 27 名

重点事項	施策の内容	成果
19) フードドライブ	フードバンクふなばしが行う フードドライブ事業への参加	<p>企業や家庭で不要となっている食品や食 材を募集し、それを必要としている施設など に無償で提供する『フードドライブ』に参加し た。</p> <p>第30回: 令和4年5月16日(月) ～6月30日(木)</p> <p style="text-align: right;">15 件 43.74 kg</p> <p>第31回: 令和4年9月19日(月) ～10月31日(月)</p> <p style="text-align: right;">19 件 191.46 kg</p> <p>第32回: 令和5年1月16日(月) ～2月28日(火)</p> <p style="text-align: right;">6 件 12.56 kg</p> <p>フードバンクふなばしに提供した食品等</p> <p style="text-align: center;">米、缶詰、瓶詰、フリーズドライ食 品、インスタント食品、レトルト食品、 飲料等</p>
20) その他の事業	(1) 各種団体との連携強化	各種団体及び福祉施設との連携強化によ り、地域福祉の推進が図られた。
	(2) 市民などへの周知活動	各種団体及び福祉施設、市民などに市社 協及び地区社協事業などの周知活動をす ることにより、連携強化につながり、地域福 祉の推進が図られた。

令和4年度事業報告には、社会福祉法第45条の2第2項に規定する附属明細書については、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和5年5月

社会福祉法人船橋市社会福祉協議会